

製品名: ERK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85207**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

抗原情報

遺伝子名	ERK2
別名	ERK; p38; p40; p41; ERT1; MAPK2; PRKM1; P42MAPK; p41mapk; MAPK
遺伝子 ID	5594.0
SwissProt ID	P28482
免疫原	ヒト ERK2 の合成ペプチド

背景

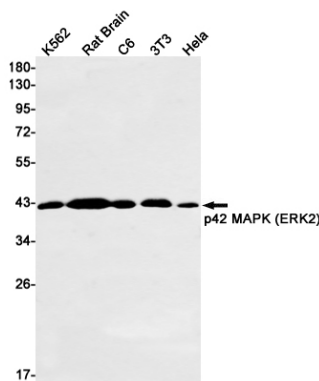
複数の生化学シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。ERK2 の活

性化には、上流のキナーゼによるリン酸化が必要です。ERK2は休止期細胞の細胞質に存在し、細胞外刺激を受けると二量体の能動輸送によって核に移行します。ERK2は胎盤の発達に必須であり、栄養膜区画におけるERK2は迷路の血管新生に不可欠であると考えられます。

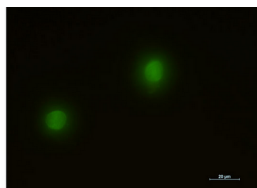
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

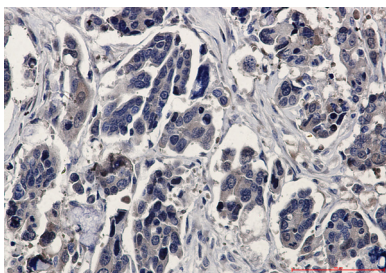
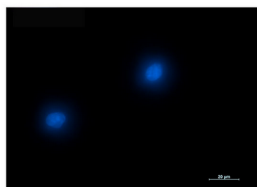
画像データ



ERK2抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のERK2のウエスタンブロット分析。



ERK2抗体とDAPI(青)を使用したK562のERK2(緑)の免疫細胞化学分析。



ERK2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム(pH 6.0)を使用した。